

令和5年12月活動報告

2日(土)伊東サテライトの調理にて「味噌ラーメン」を作りました。

センターでも今までパスタや冷やし中華などの麺類は数多く作ってきましたが、久々のラーメン作りとなりました。カップラーメンならよく食べるという方も多かったのですが、今回のように生麺を使用し野菜を炒め、トッピングにチャーシューやコーンなどを用意して食べることはないとの事で、とても美味しかったとの声が聞かれました。一人で作って食べると少し時間も手間もかかってしまいますが、皆で作業を分担して行うことが出来た為、短時間で準備をすることが出来ました。

全員分の材料を準備した後、2名分ずつ作っていき、作った方から順番に食べていった為、麺が伸びることもなく熱々の味噌ラーメンを頂く事が出来ました。



4日(月)、熱海駅前で行われた障害者週間啓発活動にセンターも参加させて頂きました。毎年12月3日～9日が障害者週間とされていますが、例年は市内にある作業所が中心となり、他の福祉事業所と合同で啓発活動を行っています。コロナ禍以降は開催を見合わせていましたが、今年は無事開催することができ、センターの利用者と一緒に熱海市内の作業所で作っている製品を駅前の方々に配布しました。

手渡した方の中には温かい言葉をかけて下さる方もいました。ご当地キャラの「あつお」も登場し、協力頂いた利用者も他事業所の方々と交流するなど思い思いに楽しんでいる様子でした。



23日(土)、センターでクリスマス会を行いました。

コロナ禍においてはセンターのいろいろな行事を中止してきましたが、参加される利用者の方が毎年とても楽しみにしているクリスマス会だけは開催しようと、コロナ禍においても規模を縮小しつついろいろと工夫を重ねながら続けてきました。

今年はクリスマス会に参加する利用者者に司会・進行、ゲーム(ダーツ)の担当、ビンゴの担当等をやっていただきました。各担当になった方と職員とで事前に何度か話し合いの場を設け、会を進行させていく為の時間配分なども話し合いました。「意外と難しいね」「やってみないと分からないよ」と少し不安な意見も聞かれましたが、当日は皆さんとても堂々とされていました。皆で行うゲームとして初めてダーツを取り入れたのですが、そのルール説明も上手にして下さり皆で楽しむことが出来ました。

また、恒例の余興にも4名の有志がカラオケで歌を披露して下さいました。プログラムの制作や会場作りにも多くの方が協力して下さい、準備、当日の運営も皆で行うことが出来、楽しいひと時を過ごすことが出来ました。当然ながらサンタクロースさんからのクリスマスプレゼントもあり、皆さんの嬉しそうな顔を見ることが出来ました。